

No.	ご意見	回答	局	担当課
	<p>（１）発達障がい者のピアサポーターについて 私には生まれつき広汎性発達障害があり、小学生の時にADHD（注意欠陥多動性障害）、LD（学習障害）を発症し、思春期の中学生の時に過呼吸症候群、燃え尽き症候群、うつを発症し、大学の時に統合失調症を発症した、必死に生きている一発達障がい者だ。今現在、結婚し、高校1年生と中学2年生の子どもがいる。 私のように回復した障がい者が、助けを必要としている障がい者のサポートに回ることを「ピアサポート」と言って、それに賃金が僅かながら発生している。 前市長のとき、精神障がい者のピアサポーターは発足した。しかし、発達障がいのピアサポーターは前市長のときには立ち上がらなかった。 それで、大西市長に発達障がいのピアサポーターを行政主導のもと立ち上げてほしい。</p>	<p>ピアサポートについては、県議会議員のときに、随分議論した。発達障がいによる課題を改善した方が、発達障がいのある方を理解者としてサポートすることは、良い部分もあると思うので、検討したい。 他にも具体的な提案などがあれば、個別に教えてほしい。</p>	健康福祉子ども局	子ども発達支援センター
1	<p>（２）発達・精神障がい者の社会参加支援について 発達障がい者や精神障がい者には、農業が良い。 そこで、発達障がい者、精神障がい者が社会参加にあたって、北区で農業に従事している方にぜひ力を貸してほしい。僅かでよいので、賃金も出るようお願いしたい。</p>	<p>私も県議時代に、ろう者や視覚障がい者など障がい者団体の顧問をたくさん務めてきた。 発達障がい、精神障がいという言葉では分かっているけど、その障がいの種類や重さで全く異なる。まずは、そのようなことを多くの方々に理解していただけるよう努めていきたい。 発達障がい者、精神障がい者の農業への参画については、雇用者と被雇用者がお互いに十分理解できていないと上手くいかない部分もある。まずは、相互理解を深めて、農業者の皆さんにも協力をしていただきたい。 また、昨年、熊本市で全盲の方が職員採用試験を受けようとしても受験できなかったことが問題となった。パソコンも打てない、書類も書けないとなると、市職員として仕事をするのは難しいのではないかという考えで、そのようになっていたのだと思う。 しかし、障がい者の方と一緒に生きていくこと、障がいに合わせたサポートにより一緒に仕事ができる体制をつくっていくことは、非常に重要だと考えている。農業の件も含めて、それぞれの地域において、障がい者の皆さんも上質な暮らしができるということは大事なことなので、頑張っていきたい。</p>	健康福祉子ども局	子ども発達支援センター 障がい保健福祉課
2	<p>災害時の避難場所の通知等について 私は、ここ5年ほど、教室と食堂の両方を兼ねた認知症カフェを主催しており、熊本市と菊陽町と合志市に時々行って情報をもらっている。 今回、台風が来た際の避難場所の通知について、菊陽町では、光の森に新しくできたホールを朝6時から開けているので避難するよう、早い段階でマイクを使って案内しており、合志市では避難場所を掲載した看板を立てるなどして対応していた。しかし、熊本市においては、そのようなものが一切なかった。 また、今回の市議選では北区選挙区は「無投票」で、市議会議員に話を聞いてもやる気が感じられず憤りを覚える。一生懸命やっても報われない気がする。</p>	<p>災害時の避難場所の知らせ方については、地域によって、防災放送設備が十分整っているところと、そうでないところの差がある状況である。情報を伝える手段については、地域コミュニティの力の活用や、あるいは障がいのある方への伝え方など、いろいろと考えていかなければならない。 認知症カフェをされている話は、新聞や報道などで知った。以前、一度会ってお話を伺いたいと言ったこともあったと思う。なかなかゆっくり時間を取ることはできないが、地域の方々の活動でそのような取り組みができていっていると思うので、よろしくお願ひしたい。 （今回の台風15号では、自主避難者の受入施設として、各公設公民館をHPに掲載し案内したところである。【危機管理防災総室】）</p>	総務局 健康福祉子ども局	危機管理防災総室 高齢介護福祉課

No.	ご意見	回答	局	担当課
3	<p>（１）台風ごみの対応について 今回の台風ごみの件については、ご苦労様と言いたいくらい非常によく取り組んでいる。通常のごみステーションの他に台風ごみ用の集積場所もつくってよいということで、大変サービスが良い。本当に一生懸命取り組んでいるので、たしかに不祥事もあったが、これ以上悪く言わないであげてほしい。</p>	<p>ごみステーションの件については、職員には、名誉挽回のためにも頑張ってもらいたい。不祥事に関する処分は処分としてきちんとして行く。皆様からのお褒めの言葉は、職員の励みになると思うので伝えるようにしたい。</p>	環境局	廃棄物計画課
	<p>（２）健康フェスタについて 北区保健子ども課の担当職員から、我々の校区での健康フェスタ開催について何度も熱心に申し入れがあった。今年ではできなかったが、職員が熱心に地域に入ってきてくれる姿勢は大変ありがたい。 もし、1年前から予定を入れてもらえれば、来年は防災フェスタも健康フェスタも取り入れたい。自治会で決議できれば、防災フェスタも健康フェスタもやって、北区長の期待に応えたい。</p>	<p>地域のいろいろな行事は早めに決まるので、健康フェスタを含め早めに打診するなど、地域の事情に合わせられるよう、いろいろと工夫をしたい。</p>	北区役所	保健子ども課
	<p>（３）暮らしの安全・安心の向上について 北区に住んで良かったと思えるまちづくりをしたいと取り組んでいる。しかし、今、植木方面でも北部東でも、自転車窃盗や車上ねらいが起こっており、バス通りに街灯がないため最終バスの時間帯に不審者が出没しているなどの事例が、防犯協会や校区の会長さん方から報告されている。 また、そのような暮らしの安全・安心に関連することとして、平成30年には私達の北部東校区に新しい警察署が誕生する。 警察が来てくれることで、周辺校区含め、安全・安心なまち、住んで良かったと思われるまちになることを期待する。</p>	<p>街路灯など防犯上の問題は、数も非常に多いように思う。 予算の関係もあり一度に全ては対応できないが、実際に被害があった場所には特に重点的に対応したり、子ども達が安全安心に通える場所をつくったり、あるいは高齢者が歩いているのが車から見えずに事故に遭うことがないようにしたりと、いろいろと考えながら、特に暗い場所で街路灯・防犯灯が適切に設置されるよう取り組んでいきたい。</p>	都市建設局 市民局	北部土木センター 維持課 区政推進課
	<p>（４）新警察署の名称について 先日、新しい警察署建設の基礎工事に伴う交通問題について、県警から相談に来られた。着工は3年後とのことだった。 これで、熊本には東西南北中央と、全ての区に警察署があることになる。ついては、市長の力で、現在の北署は中央区にあるので中央署に変更し、今度できる警察署を北署という名称にしてほしい。 現在、「（仮称）合志警察署」と言っている。合志市長もその名称になるよう推進している。 先日、名称を北署とするため校区21チームで県警本部長へ要望書を出したが、その後、本部長が替わったので再度提出する準備をしている。今、まず北区の市議団が知事や市長へ話を通すのを待っているところである。 県議団はまだまとまっていらないようだが、ぜひ市長や知事から県警本部長に挨拶してほしい。</p>	<p>警察署の名称に関しては、専ら熊本県警が責任をもって決めるべき事項だと考えている。 ただ、当然地域の声も聞いて一番わかりやすい、あるいは地域の要望も合わせて、また管轄エリアがわかるような配慮も必要だと思う。 この名称の問題に関しては、悩ましいこともある。今現在の北署が管轄している地域住民には、名称の変更によって混乱が生じるかもしれない。 一方で、東西南北中央で所在地に応じた名称のほうが分かりやすいという声もあるかもしれない。 しかし、合志市の住民からすると、熊本北署という名称だと北区しか管轄にならず合志は含まれないのかと思われるかもしれない。 また、元々は合志市の人口増加に伴い合志に警察署をつくってほしいという要望からスタートしたという経緯もあるので、総合的に考えて県警で判断されると思う。 このようなご要望があったことは、県警へ伝えるようにしたい。</p> <p>（いただいたご意見の内容については、個人情報を除き、所管先の熊本県警へ情報提供させていただく。【広聴課】）</p>	市民局	広聴課

No.	ご意見	回答	局	担当課
4	<p>（１）校区のイベント開催への助成金について 清水校区は、熊本市の指導を受けて、平成13年4月に清水校区まちづくり委員会を立ち上げた。清水校区に住んでよかったと思われるまちづくりをテーマに、5つの重点項目を掲げ今も活動している。 助成金については、まちづくり委員会を立ち上げる平成11、12年に20万円ずつ、立ち上げ後平成13年から3年間は30万円ずつもっている。それ以後は、規則で決まっているのでもっていない。 5つの重点項目の1つに、校区のまちづくりの活性化があり、人が集うコミュニティを醸成するには何がいいかということで、イベントを考えている。 「わくわく祭り」を平成13年に立ち上げてから9年間、その後は「わくわく福祉祭り」ということで続けており、今年も10月3日に開催する予定である。住民はもとより、校区の保育園、幼稚園、小中学校合わせて毎回2,000～2,500名の参加があり、賑わっている。 ただ、これだけの規模のお祭りを開催するにはかなりの資金がいる。現時点では、熊本市からイベントへの助成金はない。熊本市からの助成金としては、コミュニティ補助金があるが、これはイベントには使えないので、今までずっと町内校区からの寄付金60万円ぐらいで開催してきた。 これではどうしても苦しい状況なので、イベントに対する助成金を考えていただきたい。 （補足） コミュニティづくり支援補助金について、少し補足したい。 たしかに、清水校区まちづくり委員会を新しく立ち上げる際にも、3回ほどもらってきている。 しかし、新しいものを立ち上げるときばかりではなく、今まで校区の祭りとして18年続けてきて、これからも続けていこうというようなずっと続いているイベントのことも考えてほしい。</p>	<p>地域にはいろいろなイベントがある。自主的に協賛金を集めたりしてやっている校区もあるが、それでも補助金が出るのならお願いしたいという声もある。 コミュニティづくり支援補助金にも、いろいろな要件があると思うが、コミュニティづくりのための新しいまちづくりのイベントやお祭りを立ち上げるための資金の補助など、区役所に相談してもらいたい。 一方で、各イベントに補助するとなると、財源がないので難しいところである。ただ、地域のコミュニティづくりのお祭りなど、人が集い顔なじみになる場所は大切だと思うので、他とのバランスもあるが、柔軟に対応できるような形で検討ができればと考えている。 今後のまちづくりセンター設立時にも、内部のルールづくりやまちづくりへの資金分配などについて、いろいろと考えてみたい。 財政上の問題もあるが、コミュニティづくりに活かせるものは前向きに考えていきたい。</p>	北区役所 市民局	まちづくり推進課 区政推進課
	<p>（２）校区のイベント開催後のごみ収集について 「わくわく福祉祭り」では、校区7町内それぞれがフリーマーケットなどを出店し頑張っているが、その開催後のごみについて、今まではボランティアシールを貼って熊本市のごみ収集車に収集してもらっていた。もちろん、分別もきちんとしている。 ところが、昨年度、熊本市からイベントごみは収集しないと聞いた。昨年は、急遽そのような話を聞いたので、頼み込んで収集してもらった。その時、収集の人にも確認したところ、たしかにイベントごみは収集しないということだった。 私たちは、約18年前から熊本市の指導によってまちづくり体制を立ち上げている。それに沿ってお祭りを開催しているのに、それで出たごみも収集しないということに納得がいかない。 イベントごみは収集管理しないのが正式ということであれば、北区のいろいろなイベントで発生するごみはどうしているのか。それを聞きたい。</p>	<p>ごみ収集については、北区でのイベント開催時にどうしているかは把握していないが、イベントごみの収集に関しては、登録制にしたり、ルールを設けるなど工夫することはできるような気がする。ただ、例えば、災害ごみ収集時などに関係のない他のごみが混じっていたりするので、マナーの問題などもあってイベントごみ収集のルールも厳しくなっている部分があるのだと思う。 もし、ニーズに合うような形が取れるのであれば考えたいが、この場で即答することはできないので、いただいたご意見を参考にさせていただき検討したい。 （本市は、原則として家庭から排出されるごみについて収集を行っている。町内自治会が主催する祭り等のイベントについては、バザーや飲食店により収入が伴うことが多いことからボランティア活動ではなく、事業（収益）活動として捉え、発生するごみについても事業ごみとして各主催者で責任を持って処理することを原則としている。 しかしながら、来場者にごみの持ち帰りを周知するなどした上で、会場内に散乱したごみをボランティア清掃で片付けたような場合にはボランティアシールの貼付によって収集を行う等の対応を行っている。【廃棄物計画課】） （北区でのイベント開催時のごみ処理については、イベント運営業務の仕様に含んで委託契約を締結し、受託業者において適切に処理を行っている。【北区総務企画課】）</p>	環境局 北区役所	廃棄物計画課 まちづくり推進課

No.	ご意見	回答	局	担当課
5	<p>(1) 街灯の設置について 西里校区では、健康まちづくり、安全安心まちづくりの2項目を重点項目に掲げている。 健康まちづくりについては、先日保健子ども課などと一緒に第1回目のワークショップを行ったところであり、スタートしているので問題ない。 しかし、安全安心まちづくりの項目に関しては、街灯が問題になっている。カーブ区間や交差点区間に街灯が少ない。道路照明灯は、道路管理者が設置すべきものだ。市長のマニフェストにも街灯と防犯灯の整備を掲げているが、昨年の要望に対しては27年度は予算がないとのことと断られた。 交通事故を防止するため、28年度予算については増額をお願いしたい。</p>	<p>街路灯、防犯灯については、全市域から意見が出ている問題であり、非常にニーズが高いため、マニフェストにも入れている。 いただいたご要望等は踏まえながらも、優先順位も付けなければならないので、オープンにしながら取り組んでいきたい。</p>	都市建設局 市民局	北部土木センター 維持課 区政推進課
	<p>(2) 北バイパス開通による渋滞への対応について 北バイパスが開通して国道3号線に繋がりと、四方寄あたりが混雑している。そのため、通勤の車などが県道熊本田原坂線の方へ流れている。 そこで、熊本田原坂線の改良をお願いしたい。 ・西里駅から植木よりの西里跨線橋、ここは何度も事故が起きている。昨年、都市建設局長には要望を出している。 ・硯川地区の変則交差点を十字交差点にしてほしい。 ・狭い歩道があり、小学生の通学時に中高生の自転車も通るので、自転車歩行者道に拡幅してほしい。 この熊本田原坂線の改良要望については、防犯灯と合わせて、9月に北部土木センターに提出したいと思っている。 また、熊本田原坂線については、市の道路整備プログラム作成が平成28年度にあると聞いている。国の防災・安全交付金で整備が可能と思うので、ぜひ取り組んでもらいたい。</p>	<p>北バイパスがせっかく開通したのに、その影響でなぜ渋滞がひどくなるのかという声は、非常に多い。 ただ、これは以前から予測できており、私も県議会で去年9月に指摘をし、県警でも2割くらい交通量が増すのではないかとのことだった。 また、国土交通省とも渋滞対策については協議を行った。 要望が出ているのは承知しているので、熊本市だけでは対応できない部分もあるが、熊本田原坂線の西里跨線橋については本年度検討を行う予定であり、残りの硯川地区の交差点改良と歩道拡幅については要望内容を詳細に確認させていただきたい。</p>	都市建設局	道路整備課 北部土木センター 工務課
6	<p>(1) 徳王の健康まちづくりについて 徳王に関わることをお願いしたい。 私達の自治会には、20歳以上の自治会員が700人いる。そのうち、今年は80歳以上が115名おり、全体の14%にあたる状況である。 徳王でもコミュニティづくりの面で、昨年からは健康サロンを開催しており、徳王桜友の会という老人会を中心に集めをしている。保健子ども課や熊本保健科学大学から来て説明していただき、体操をしたりしながらやっている。 このような中、健康サロンなどに来ることができない人達をどうするか、また、寝たきりあるいは老々介護の人達にどうすれば出てきてもらえるかが、最大の課題だと考えている。 今、社会保障においては、公助という言葉が消え、共助、自助という形に変わってきているが、やはり行政、国が関わった社会保障も充実しなければならないのではないと思う。行政に携わる皆さんには、地域に入ってってもらい、地域の財政的に苦しい状況、例えば、老人会の会費を払えず退会者が出ている実態などを知ってほしい。 更には、寝たきりの人やその家族が多いところでは、民生委員の増員・処遇の改善などを実施していただきたい。</p>	<p>地域の介護や福祉の問題は、大変重要だと思っている。 民生委員の増員のご要望をいただいたが、現在、民生委員には欠員が多く、やめたいという人も多い。非常に負担が増えている状況なので、どんどん養成して増やし、地域の見守りが出来る体制をつくってほしい。 また、ジュニアヘルパーをやってきている中学生や高校生もおおり、若い世代の人達とも力を合わせながら取り組むことも考えていかなければならない。</p>	健康福祉子ども局	健康福祉政策課 高齢介護福祉課

No.	ご意見	回答	局	担当課
6	<p>（２）道路改良について 旧3号線に馬々鉄交差点があるが、昨年4月から改良されて、今では大型車がどんどん入ってくる。しかも、飛田バイパスの化血研の横を通って車が流れる状況となり大変良くなった。 しかし、この改良工事のあり方について、もう少し先まで見越して改良していれば、交通事故も起こらない幅員の大きい交差点ができたのではないかと思う。 現状としては、早めに改良区間の工事は終わっているものの、大型車両が通り道路に隣接する住民が危険を感じていたり、カーブになっているため車同士の事故も起こりかねない状況があったりすることが、今一番問題だと考えている。 このような状況を理解していただき、改良をお願いしたい。</p>	<p>（馬々鉄交差点改良工事は、国道3号からの山室大窪第1号線整備事業の一環で整備したもので、整備に際しては警察とも十分に安全を確認し進めたところである。 昨年の供用開始後、ご指摘いただいた箇所については立会いし、注意喚起の路面表示を実施した。 今回は、そこから先の危険箇所のご指摘だが、今後も現況把握に努め、当面は局所的な安全対策をさせていただきたい。【北部土木センター工務課】）</p>	都市建設局	北部土木センター工務課
	<p>（３）定期バス路線の新設について 馬々鉄交差点ができて、飛田バイパスに繋がったことにより、大型バスも通れるような幅員となった。 現在、徳王から菊池に行くには、一度交通センターまで出て行く必要があるため、交通センターから京町を通り馬々鉄で右折し飛田バイパスを通る路線バスを新設してもらいたい。菊池方面へ行く路線、あるいは北区方面への通学路線ができれば、地域住民として大変うれしい。</p>	<p>バスの問題は、バス会社とも考えないといけない。 （ご意見のあった路線について即時運行を開始することは難しいと考えるが、市としては、今後もわかりやすく利便性の高いバス路線網の構築に向け、バス事業者との協議を継続していきたい。【交通政策総室】）</p>	都市建設局	交通政策総室
	<p>（４）公園設置の充実と安全確保 私は、シルバー人材センターから派遣されて、坪井の湧水公園の管理をしている。湧水公園には運動施設もあり、「ひごっこジャングル」という子どもの遊び場もある。他所から来る観光客からは、九州では珍しい施設だと喜んでもらえており、熊本としても他県に誇れることだと思う。 ただ、残念なことに、公園の駐車場が一時避難場所になっているのだが、ゲートに照明灯がなく、避難場所が認識できないという状況がある。 また、「ひごっこジャングル」を含めて公園内には避雷針が無い。 また、私達が管理棟にいるが、ここには緊急情報を得るためのラジオもテレビも無い。遊びに来た市民の安全を確保するという面からも、これらの施設は大事にしていただきたいと思っている。 また、台風の時、契約上の都合で、緊急の場合も当日の要員が増やせないという事情があるが、年間契約の中で最後に協定書を作って人数の増減ができるようにしておけばよいのではないかと考えてもらいたい。</p>	<p>坪井川遊水公園の駐車場の街灯については、言われないと気付かない。私も明るい日中にはよく行くが、そういう細かいところは意外と気が付かないので、どんどん指摘してもらって、考えていきたい。 （照明灯による避難場所標識の視認性確保については、必要性を検討させていただきたい。落雷の危険への対策については、雷注意報の発令があった場合に、速やかに土木センターから公園内の管理事務所に連絡をし、その後、管理事務所職員が天候を注視しつつ、雷雲、雷鳴等の落雷の兆候があれば利用者への注意を行くこととしている。緊急情報の提供についても、同様に、土木センターから管理事務所に緊急連絡することにより対応可能と考えている。台風後など特別な事情がある場合の緊急の増員については、現在の契約上も協議によってある程度柔軟な対応が可能であり、必要であれば変更契約による対応も検討する。【公園課・北部土木センター河川公園整備課】）</p>	都市建設局	北部土木センター河川公園整備課

No.	ご意見	回答	局	担当課
7	<p>(1) バスの路線・便数などについて 北バイパスが四方寄から全面開通したことで便利になったが、渋滞を引き起こしている。四方寄から鞍掛、植木インターまでの新植木バイパスが全面開通すれば、もっと交通渋滞が解消する。 ここで、バスの路線や便数に関して、いろいろと要望がある。 新しいバス路線の新設など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新植木バイパスを全面開通させ、そこを通る熊本ー山鹿間の路線バスをつくる。 ・熊本電鉄バスの外沖ー南原の路線区間を植木、山鹿まで伸ばす。 ・山鹿ー植木ー北バイパスー県庁経由、交通センター行きの路線バスをつくる。 <p>バスの運行時間の延長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本発の始発を早く、山鹿発の最終便を遅くしてほしい。 <p>高速バスの便について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本ー植木IC経由、福岡行きのスーパーノンストップバスひのくに号を30本ほど増やす。 ・熊本ー福岡便を200本、最終便についてもどんどん増やす。 ・熊本ー大阪、京都行きの夜間高速バス「阿蘇くま号」が姫路でも停車するようにする。 ・熊本ー東京行きの日本ー長距離を走る夜間高速バスをつくる。 	<p>交通の便は良くしていかなければならないと考えている。北区の皆様にとっても、交通に関しては悩ましいところが多いと思う。 高速バス200本増便というのは、さすがに簡単ではないと思うが、バスは安いし便利なので、利便性を高めることについてはバス会社と話をしていきたい。</p>	都市建設局	交通政策総室
	<p>(2) グランドパスについて グランドパスは、西鉄の高齢者向け定額式定期割引乗車券だが、今後、全九州共通の障がい者・高齢者向けの乗車券をつくることを検討してほしい。</p>	<p>障がい者・高齢者向けの優待は、今もいろいろ取り組みはしているつもりだが、制度上完全無料はなかなか難しい面もある。 しかし、障がい者・高齢者が利用しやすい形になるよう検討する余地はあると思うので、ご提案をいただければと思う。</p>	都市建設局 健康福祉子ども局	交通政策総室 障がい保健福祉課
	<p>(3) 熊本市現代美術館の入館料について 熊本市現代美術館の入館料については、さくらカードや障害者手帳を持っている人は一応割引引きにはなっている。 しかし、今後、全国の障がい者、九州内の高齢者については、熊本市動物園と同様に完全に無料にしていきたい。</p>	<p>(熊本市現代美術館の入館料について、市外の方に対する減免などの優待は、現時点では厳しい状況であるが、今後も、市民の皆様だけでなく、県外からの来館者に対しても、安全で快適に利用していただけるよう努めてまいりたい。【文化振興課】)</p>	健康福祉子ども局 観光文化交流局	障がい保健福祉課 高齢介護福祉課 文化振興課
8	<p>市道の整備について 住みやすい住環境の整備ということで、ひまわり等の花を植えたりするのも結構なことだとは思いますが、その前に、山東校区内では市道が古く、でこぼこで危険なところが各所にある。 この危険な道路を早く整備してほしい。</p>	<p>優先順位もあるが、古い道路についても土木センターなどと検討していきたい。</p>	都市建設局	北部土木センター 植木地域整備室
9	<p>(1) クリーンセンター不祥事について クリーンセンターの不祥事をテレビや新聞などで知り、驚いた。市民の税金が無駄にならないよう、何らかの対処及び指導をお願いする。</p>	<p>クリーンセンターの件については、会の冒頭でもお詫び申し上げたとおりである。各センターに直接行き、翌日厳しく訓示した。 明日(8/28)ぐらいには処分が決まると思うが、処分と併せて、このような不祥事を2度と繰り返さないように、また、市民の皆様のご信頼を得られるように指導している。</p>	環境局	廃棄物計画課
	<p>(2) 街路灯設置などの防犯対策について 大窪、山室地区では、私も5年前に自治会長さんと一緒に動き、防犯灯を2個だけ設置してもらった。 しかし、大窪にはまだ防空壕も残っており、実際に被害に遭った子どももいる。それでも、未だに街路灯が設置されない状況である。 この点、市長はどのように考えているのか。</p>	<p>山室や大窪なども含め、北区は暗くて危ないところが多いという印象を持っている。このようなご要望をいただいて整理をしながら、被害が発生した箇所などについては、できるだけ早く優先的に対処していかなければと考えている。 自治会への防犯灯の補助は抽選で実施しているが、予算が限られているため落選も多い。なぜ落選なのかというご意見もたくさんいただく。防犯にかかる予算も、県の補助の予算などと組み合わせて対応しているが限度がある。 しかし、今日も多くの方から防犯灯に関するご意見が出た。ニーズが高いことについては、事業化をしっかりとしなければいけないと思うので、来年度にむけて検討をしていきたい。</p>	都市建設局 市民局	北部土木センター 維持課 区政推進課

No.	ご意見	回答	局	担当課
10	<p>(1) コンビニでの証明書交付について 冒頭の市長の話で、コンビニで6時半から23時までの時間帯に証明書などを取得できるということだったが、コンビニは24時間開いているのに、なぜ24時間ではないのか。 また、コンビニに行政手続きの一部を外注することになり、今まで手続き業務をしていた職員が配置転換されるといふことで、外注して更に別の仕事をされるとなると、今後市民税が高くなったりするのだろうか。</p>	<p>コンビニの手続きに関しては、店舗の営業自体は24時間だが、例えば、その中に設置してある銀行のATMは午後9時までしか稼働していません。 コンビニでの証明書交付に関しても、全国の自治体が加入し証明書のコンビニ交付を推進している機構で実施している時間帯に合わせている。 コンビニに委託すると、例えば、銀行の窓口で振込みをすると手数料は高いが、ATMだと安いというように、人件費が減り、手続きの際にかかる利用料も抑えられる。今、このようなことも含めて検討している。 サービス水準を高くして、できるだけ効率よくやるということであり、この取り組みで市民税がすぐ上がってしまうようなことはないので、安心してほしい。</p>	市民局	区政推進課 社会保障・税番号 制度推進室
10	<p>(2) 医療政策について 熊本市は熊本県全体の医療を担っていると思うが、まちづくりの担い手だけではなく、医療従事者を育てるプラン、熊本県への働きかけなどのビジョンはあるのか。 安心して暮らせるためには、まず病院がしっかりしていないといけないと思う。</p>	<p>国全体の医療費が高騰していることはご承知の通りだが、必要な方に必要な医療が行き渡ることは極めて重要なことである。 そのような中、2025年の医療需要と病床の必要量を推計し、2025年のあるべき医療提供体制を実現するため、来年までに県が各市町村とも意見交換しながら地域医療構想を作らなければならなくなっている。現在、その協議を行っている。 2025年には、団塊の世代が75歳を超え後期高齢者となり、慢性疾患などの患者も増えることが考えられる。それに伴い、医療費が更に増大するのをどうにかしなければいけない。 今から10年、20年後に向け、予防、各種検診などを充実させることによって、できるだけ病院にかかる必要がないくらい健康でいていただくことが大事である。 現在、健康まちづくりということで、北区役所からも保健師が中心となって地域におじゃまさせていただいていると思う。このような取り組みで健康の相談などがきちんと受けられるようにし、また、各種検診なども充実して受けられる体制もしっかり整備していくことが重要だと考えている。 なお、医療環境については、他の地域と比べても熊本は相当恵まれた状況である。このような状況も踏まえて、今後の対策を考えていかないとはいけない。</p>	健康福祉子ども局 北区役所	医療政策課 健康づくり推進課 保健子ども課
10	<p>(3) 消防署の広域的な連携について 先日、地元の武蔵ヶ丘で救急の講習を受けた。 その時、武蔵ヶ丘には、まず楠、次に小山の消防署からという順で救急車が出動して来ていると聞いた。すぐ近くにある合志市の泉ヶ丘消防署からは出動しないのか尋ねたところ、行政上の問題があり提携していないとのことだった。 たしかに、行政界というものはあるが、もっと広域的な連携ができないのか聞きたい。</p>	<p>消防署の管轄のエリアについては、消防車の到着までに要する時間などいろいろなルールがあり、できるだけ最寄の消防署から行けるように取り組んでいる。 来年4月に、北消防署が設置されるので、北区のエリアも更に充実していくのではないかと考えている。 (他の消防本部の管轄へ対応すると本市に空白が生じてしまう等、必ずしもメリットばかりではなく、現在のところ広域的な連携の予定はないが、大規模な災害等が発生した場合は、熊本県消防相互応援協定に基づき、管轄を越えた連携を取るような体制を整えている。【消防局管理課】)</p>	消防局	管理課

No.	ご意見	回答	局	担当課
11	<p>(1) インターネットを高齢者にも普及させる方策について</p> <p>町内会・自治会で会合などを開くとき、役員をしている人には高齢者が多いため、インターネット等を使ったことのない、いわゆる情報弱者が多い。</p> <p>そのため、自治会の会議でなかなか結論までたどり着かない。私が自分の携帯を使い、熊本市のホームページへアクセスして調べればすぐ必要な情報を得られるところ、高齢者が集まって、1時間も2時間も話し合っても、結局そこまでたどり着くことができない。また、消防団でも、上層部は高齢者が占めているが、彼らは連絡手段として電話くらいしか思いつかない。そういうことでは、災害には十分に対応できない。</p> <p>先ほど、マイナンバー制度の導入で、コンビニで証明書などが取得できるようになり便利になるという話があったが、インターネット1つ使えない高齢者がコンビニのタッチパネルを使いこなして必要な証明書をきちんと得られるのか疑問である。そのような方々は、相変わらず窓口を利用すると思われるので、窓口業務をする職員を直ちに削減することには繋がらないのではないかと。</p> <p>そこで提案だが、各地区の公民館などに、何らかの形でインターネットにアクセスできるような措置が予算をかけずできないだろうか。例えば、市から、ソフトバンクやドコモなど事業者へ声をかけて、喫茶店などにあるようなWi-Fiスポット（Wi-Fiルーター（無線LANアクセスルーター）によりインターネット接続が可能な領域）を無料で設置してもらい、公民館をネットワーク化したWi-Fiスポット網を作ってもらえないかと考えている。</p> <p>そうすれば、市の予算も使わず、高齢者は老人会などでインターネットに触れることができ、若い役員は会議のときにスマートフォンやタブレット端末等で情報収集しやすくなり、自治会活動などに参加しやすくなる。費用をかけず、情報弱者の高齢者と若い人達が接点を持つことができるインフラ整備をしてほしい。</p> <p>そして、元気が情報をもたない高齢者に、インターネットの知識を啓発・教育してほしい。日常的にインターネットを使いこなす人と、テレビや新聞しか情報源がない人とは、全く話が合わない。このような状況では、今後の福祉でもインターネットが役に立たなくなってしまう危険性がある。</p> <p>インターネットは強力な武器なので、そのような武器を広く普及させるような施策を低予算で実現してほしい。</p>	<p>地域の公民館やコミュニティセンターなどがインターネットとも繋がるような体制は、今後整備していかなければならないと考えている。</p> <p>ただし、インターネットも、得意な人もいれば苦手な人もいる。苦手な人に対しては、ぜひ優しくしてほしい。得意な人が、「こうすればいいんですよ。」とちょっとした声かけをするだけで、そこにコミュニケーションが生まれる。一方的に、情報弱者は…と言われては、憤慨される方がいらっしゃるかもしれない。</p> <p>インターネットを使える人が、そうでない人と一緒になって、共に協力しながら支え合うと、非常に良い。その際に、「ここが足りない」とか「ここを頼みたい」とか、いろいろと出てくると思う。</p> <p>私は、情報連絡手段として誤解を生まないためには、実際に会って、フェイス・トゥ・フェイスで話すのが一番基本だと考えている。それができない場合に、電話や手紙、あるいはインターネットといったように、合理的に通信手段も使う。</p> <p>情報機器を使いこなせる人同士であっても、情報機器を介したやり取りの中で思わぬ誤解が生じている部分もあったりする。</p> <p>したがって、やはり私自身としては、会うのが一番だと思っているので、そのような機会がたくさん設けられれば良いと思うし、更にいろいろな人が参加できるようにするために、インターネットなどの新しい機器も一緒に使えるようにしていきたいと考えている。</p>	市民局	情報政策課
	<p>(2) 北区の情報紙等について</p> <p>北区まちづくり推進事業で、「北区 幸せ絵巻～ぶらり北さるき～」や「ひまわり通信」を作って配布しているが、紙で作って配布しただけでは、そのうち捨てられてごみになる。</p> <p>できればインターネットでもすぐ見られるようにしてほしい。「ひまわり通信」はPDFでのダウンロードなので、スマホではすぐに見ることができない。旅行者などが容易に利用できるようなにはなっていない。作ったという実績だけで安心しているような印象を受ける。</p> <p>せっかく作ったものは、資産として活用できるようにインターネットを最大限活用するような方策を考えてほしい。</p>	<p>（区長）</p> <p>「ひまわり通信」については、確認をしたい。</p> <p>「北区 幸せ絵巻～ぶらり北さるき～」のマップについては、データをホームページに掲載することも検討した。</p> <p>しかし、首から提げて歩きながら実際に書き込みができるようにし、シールも貼って自分なりの手帳を作してほしいという意味で、あえて紙ベースにこだわった。ぜひ、その点をご理解いただければと思う。</p> <p>（「ひまわり通信」については、一般的な手法として市政だよりと同様にホームページ上にPDF形式でデータを掲載しているの、ご指摘のとおりいったんクリックして見ることになる。将来的には、更に閲覧しやすいような手法があれば研究させていただきたい。【北区役所総務企画課】）</p>	北区役所	総務企画課 まちづくり推進課

No.	ご意見	回答	局	担当課
12	<p>インターネットが使えない高齢者の自治会参加について 高齢者でインターネットが使えない人は、一切自治会に参加してはいけないのか。そのような者は自治会活動はやらないで良いということではないのか。</p>	<p>決して、そのようなことはない。先に発言された方も、あえてそういうことをおっしゃったのではないかと思う。 「皆がお互い様の精神でやっていくこと」が、地域づくりの基本だと考えている。</p>	市民局	区政推進課
13	<p>(1) 国道3号植木バイパスについて 北バイパスと繋がったことによって、3号線の渋滞が非常にひどくなった。 12日ほど前の熊日新聞に、市長会14名が、天草幹線道と国道57号線の早期完成について知事に要請したという記事があった。国道3号植木バイパスについても、市長会、議長会から、国、県へ陳情要請をしてほしい。</p>	<p>国道3号植木バイパスについては、先々週、国に陳情してきたし、期成会の方でも取り組んでいる。先ほども国土交通省九州地方整備局長と話をし、整備を急ぐようお願いしている。 今後も、いろいろな場面を通じて要望していきたいと思う。</p>	都市建設局	道路整備課
	<p>(2) 熊本市職員の異動について 業務職から事務職への異動があるということで、例として、業務職のバスの運転手が3～4年したら事務職になることがあると聞いた。 しかし、職員間の融和がとれない、仕事ができないなど、無理があり問題だと聞いている。業務職から事務職への異動について、また、事務職と業務職の採用についてどのようになっているのか聞きたい。</p>	<p>市職員の異動については、適材適所が基本である。 例えば、市営バスは廃止になったが、市で採用した職員については、市の他の仕事を担ってもらうことになる。その際、事務職へは職種変更試験を設けている。個々人にもよるかもしれないが、必ずしも業務職の人は事務処理が不得手とは限らない。 業務職、事務職という職種に関係なく、頑張る人材を育てていくために、市職員の教育を徹底していくことに加え、その貴重な人材が、より市民のために働けるような人事異動を行っていくことが重要だと考える。 お気づきの点については、待遇面などでも、どんどんご意見をいただきたい。市民の皆様の声で市職員を育てていただく部分もあるので、その点もぜひご理解いただきたい。</p>	総務局	人事課
	<p>(3) 中学・高校生の模擬議会の開催について 来年の参議院選挙から、18歳で選挙権が与えられるようになるが、直近の選挙報道を見ても、若者の投票率は低い状況である。 若いうちから選挙に関心を持ち、その重要性を知ることは大切である。については、中学・高校生の模擬議会の開催してほしい。</p>	<p>中学・高校生の模擬議会については、中学生による子ども議会を市で、熊本県高校生県議会を県で開催している。学校行事との兼ね合いもあり、夏休みなどを利用して、議会閉会時に開催している。本市で開催している中学生の子ども議会は、本年度は私立も含めた市内の中学校52校より各1名の代表者に参加いただいております。市に対して子ども議員ならではの指摘や提案が出るなど、市政に興味・関心を持ってもらう場として、重要な機会だと考えている。 ただし、参加者が各校1名と限られていることから、より多くの中・高校生が政治を身近に感じるためには、地域活動に参加することの方が、効用が大きいのではないかと思う。 地域コミュニティに中学・高校生が参加することは、大人と一緒に地域の課題を知り、その解決のために市議会や市当局への要望を出したりして、それが予算化され議会で議決されたり、あるいは市のレベルでできなければ、県、国へと繋げていったりする過程を知ることにより、実は自分達の生活が政治に繋がっていることを実感できる重要な契機になると考えている。</p>	教育委員会 市民局 北区役所	人権教育指導室 教育政策課 区政推進課 まちづくり推進課

No.	ご意見	回答	局	担当課
14	<p>少子高齢化の中でボランティアを支える体制について 熊本市ボランティア連絡協議会の会議で、熊日で報道された市長の今後のビジョンが話題になった。 これまでの市長達は現状についての話が多かったが、今の市長は熊本市の将来のことを話していたので、ボランティア団体として大変興味を持った。 今、少子高齢化でボランティアへの期待は大きい、それを支える人が少ない。今後この現状にどう取り組んでいくのかが、問題である。 長野県の場合、健康年齢が非常に高い。なぜかという、高齢者も目的を持って、仕事もしている。したがって、今後の少子高齢化を支えるために、元気な高齢者が社会に参加して、目的をもって活動していくことが、問題の解決に繋がるのではないか。 私達も、この少子高齢化にどう立ち向かっていくか、皆で考えていきたい。</p>	<p>ボランティアを支える体制は非常に重要であり、多くの方が参加しやすいようにすることが大事だと思う。 今はどうしても、地域の一部の人が集中して、自治会長などいろいろな役職を担わないといけない状況であり、何年も続けて疲れ果てている人もいる。そういう方を支える体制、特に若い世代のサポーターが出てくる必要がある。 また、経済界の人に対しては、会社員が地域活動に貢献したら人事評価で評価してもらい、そして地域活動に貢献できる社員を増やしてもらえよう提案している。 会社を辞めないと地域に入れられないような状況があるが、地域活動を活性化させることは経済的にもプラスになる。社員が地域に貢献することは、その会社にとっても宣伝になったり、営業につながったりすることもあると思うので、取り組みを広げていきたい。</p>	市民局	市民協働課 区政推進課
15	<p>住みやすいまちづくりの方向性について 私は、42歳くらいで都会から熊本へ帰ってきた。当時は、熊本へ帰りたくなかったが、もう都会へは戻れない。それならば都会の人が経験できないことをこのまちで経験したいと思ったので、無農薬野菜づくり、ウォーキング、スイミング、ジョギングなど、土地で感じるものや自然の豊かさを追求したいと思った。 今、都会の仲間に電話をしても、もう誰一人この世に残っていない。もし、ずっと東京にいたら、私もいないかもしれない。熊本は、長生きに適している。 しかし、その一方で、植木では多額の金をかけて区画整理を行ったが、ご覧のとおりである。もっと効率的な投資や自然こそ、我々にとって大事だと思う。情報化が益々進んでいるが、それで自然のリズムを乱してはいけない。 北区が住みやすいまちになるには何が大事か、そのまちづくりの方向性をどの方面に向けるのか考えると、近代化も大事だが、環境も大事である。 まちづくりにおいては、そういうことも考えてほしい。</p>	<p>「熊本は、長生きに適している。」というのは、良い言葉だ。 私も12年間東京で生活した。毎日満員電車に乗り、横浜から赤坂まで通っていたが、苦痛だった。東京は環境が良くない。 熊本は長寿県だが、水や自然環境に恵まれているということが影響しているのだと思う。 情報化、経済的成長も、もちろん大事だが、それと同時にバランスも大事である。生活の質のバランスを保っていくことが大事だと思う。 人はそれぞれ生活のリズムが違う。自分たちの生活リズムに適したまちづくりができるように、いろいろな人の意見を聞かなければならないというのが、これからの市政だと考えている。 次回の「ドンドン語ろう！in北区」は、11月11日に龍田公民館で開催するが、他にもいろいろな機会を通して、私もできるだけ直接皆さんと対話しながら、市政運営を進めていきたい。 私だけでなく、市役所には約6,400人の職員がいる。皆、地域の一員でもある。皆さんとともに、熊本市を良くするために頑張っていきたいと思う。</p>	北区役所 市民局	総務企画課 広聴課